

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人体形態機能学Ⅳ
講師	医師	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次・学期	1年次 第1学期
授業概要*講師からのメッセージ	看護実践に必要なひとの人体の構造と機能を学び、日常生活行動の援助を考えられるようになってほしいです。		
目的：看護実践に必要な人体の構造と機能を理解できる。			
目標：1. 日常生活をするために必要な伝達経路を理解できる。			
2. ひとが動くために必要な骨・関節・筋肉のしくみと働きを理解できる。			
回	授業内容		
1	<b>脳神経</b> 1. 神経系の構造と機能		
2	2. 脊髄と脳		
3・4	3. 脊髄神経と脳神経		
5	4. 運動機能と下行伝達路		
6	5. 感覚機能		
7	6. 体性感覚と上行伝導路		
8	7. 脳の統合機能		
9(45分)	終了試験		
10	<b>運動器</b> 1. 人体の骨格 2. 骨の組織と構造		
11	3. 骨の成長 4. 骨の生理的な機能		
12	5. 関節と骨格筋の構造と機能、可動性 6. 姿勢 立位の保持		
13	7. 骨格筋の構造と作用、神経支配 8. 体幹の骨格と筋		
14	9. 上肢の骨格と筋 10. 下肢の運動		
15	11. 頭頸部の骨格と筋		
16	12. 筋の収縮(神経から筋への指令と筋の収縮)		
17(45分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験(100%) 評価基準参照		
教科書	医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [10] 運動器		
参考書			
備考			